

武道授業

実践の概要紹介

高崎市における地域人材を活用した柔道授業の取組について

高崎市は、関東平野の北端に位置し、西端は長野県、南端は埼玉県と隣接する人口37万人の中核市です。古くは中山道と三国街道の分岐点として宿場町が広がり、交通の要衝として栄えた街です。現在でも、関越自動車道と北関東自動車道の分岐点として、また、新幹線の停車する高崎駅は上越新幹線と北陸新幹線の分岐点として、全国でも有数の交通拠点都市となっています。

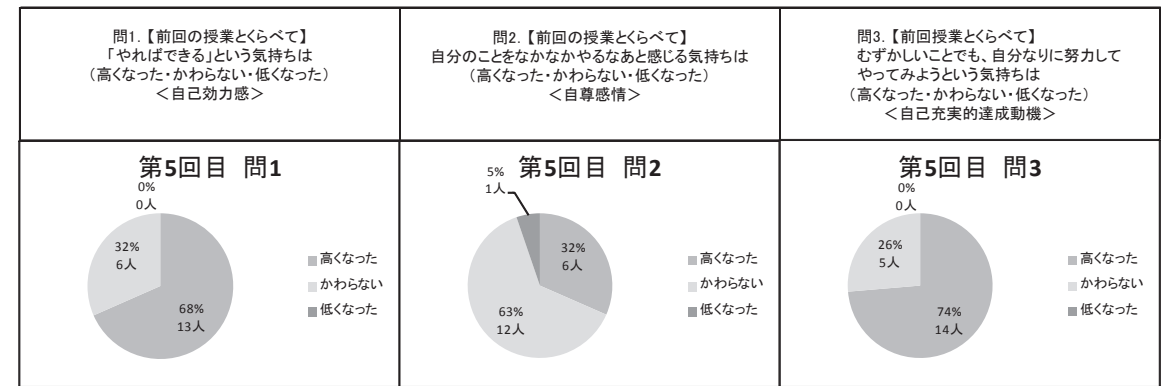
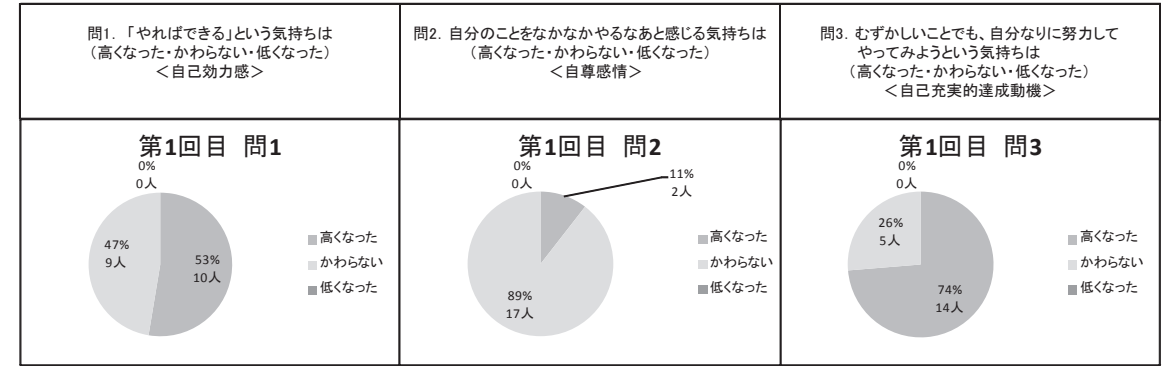
本市では約1万人の生徒が市内25の中学校へ通っており、その全ての中学校で保健体育科の授業として柔道授業が行われています。



高崎市教育委員会
事務局健康教育課

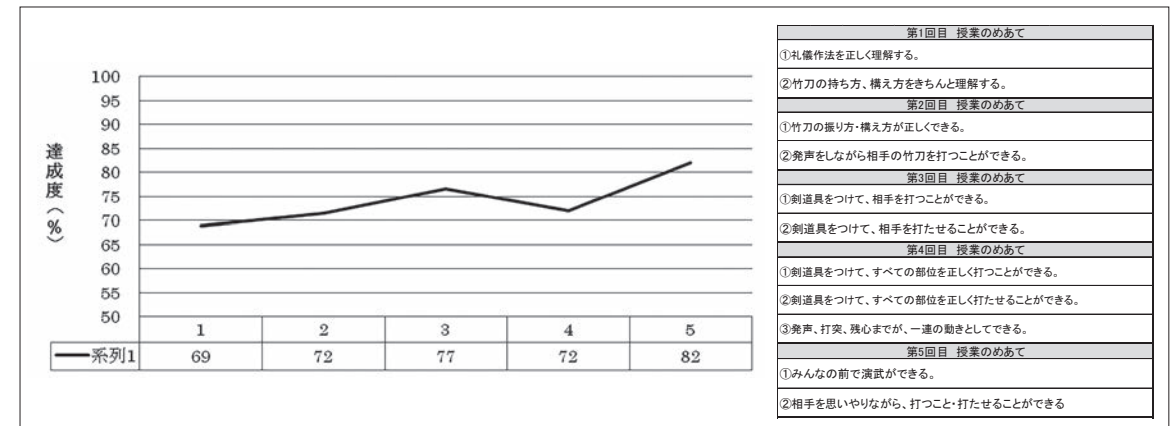
【授業の振り返り】

各回の授業の振り返りにおいて、①自己効力感、②自尊感情の測定、③自己充實的達成動機の測定を行った。自己効力感（問1）については、授業後に変わらなかった1名を除く18名が上昇した。低下した者はいなかった。自尊感情（問2）については、10名が上昇し、変わらなかった生徒が9名であった。低下した者はいなかった。自己充實的達成動機（問3）については、17名が上昇し、変わらなかった生徒が2名であった。低下した者はいなかった。



【剣道授業における「めあて」の達成度】

各回の授業で「めあて」を提示し、そのめあてをどれだけ達成できたかを分析すると、概ね70%～80%の間にあり、各回のめあての設定と授業内容は適正であったと考えられる。



1 はじめに

高崎市では、平成24年度から全面実施された中学校の保健体育科授業における武道の必修化により、全ての中学校で柔道を選択し授業を行ってきた。

生徒が安心・安全に柔道授業へ



柔道授業指導協力者（左）と担当教諭による授業の様子



教員に対する柔道研修会の様子

取り組みができるよう、本市では、「高崎市中学校柔道授業指導協力者事業」を推進して全中学校で行われる柔道授業の全ての時間に地域の柔道指導経験者（柔道授業指導協力者）を派遣し、担当

教諭とのチームティーチング指導を行っている。また、市内全中学校で指導内容や指導計画を統一することにより、複数校へ派遣している柔道授業指導協力者が、その役割に応じた指導を的確に行うことができ、限られた時数の中で充実した学習が展開されている。

2 安心・安全な柔道授業を目指した チームティーチング指導の導入

平成24年度、柔道授業を実施するに当たり、『生徒が安心・安全に取り組みための指導体制や指導内容等について検討し、各学校の基となる指導計画を作成する』ことを目的として「中学校保健体育科武道（柔道）指導計画作成委員会」を設置し検討を重ねた。

平成24年度から平成26年度までは「高崎市柔道授業外部指導協力者事業」と「武道等指導推進事業」（文部科学省委託事業）を活用して、市内25校全ての中学校へ柔道授業指導協力者を毎時間派遣し、担当教諭とのチームティーチング指導によって柔道授業の充実を

3 安心・安全な柔道授業を目指した 授業内容・授業計画

高崎市の中学校の柔道授業は1学年男女全員を対象に行っている。全10時間を（つかむ、追究する1、追究する2、まとめ）に分けて構成している。

図るとともに、安心・安全な柔道授業を行うことができた。平成27年度からは、「高崎市中学校柔道

授業指導協力者事業」として柔道授業指導協力者の派遣を継続して行っている。

つかむ段階では、授業の進め方や学習カードの使い方を確認し、学習に見通しをもつとともに、柔道授業指導協力者の示範や映像資料等を通して柔道の歴史や伝統文化としての考え方を知る。

追究する1の段階では、柔道特有の基本動作や固め技の習得を行う。基本動作や固め技の習得場面において、柔道授業指導協力者の示範により視覚的にわかりやすく本物の動きが生徒に伝わるよう配慮している。

追究する2の段階では、習得した動作や固め技を用いて攻防を展開するとともに、勝敗を競い合い互いに高め合う楽しさや喜びを味わうことができるよう学習内容を

4 安心・安全な柔道の授業実践のための配慮事項

工夫している。柔道授業指導協力者については、安全の確保・技能の向上・自己の課題解決に向けたアドバイスなど多岐にわたって協力を依頼している。

めとして受け身や固め技の発表会やこれまで身に付けた動作や固め技を用いて試合を楽しむなど、本単元で身に付けた学習成果の確認を行っている（次頁単元構想参照）。

○1時間ごとの指導計画例を作成し、全市内で安心・安全な柔道授業を行う。

○担当教諭が授業を進め（T1）、柔道授業指導協力者が示範をする形態（T2）が多くなるが、打ち合わせを密にしながら場面に応じた役割分担や学習内容に適した声かけを行い、より安心・安全な授業を行う。

○柔道授業の単元導入時や毎時の振り返り時に相手を尊重する心の大切さについて触れ、礼法と合わせて行うことにより意識づけを図る。



柔道授業指導協力者が技の示範をする



担当教諭と柔道授業指導協力者がチームティーチングで指導を行う

KUSAKURA

http://www.kusakura.co.jp

九桜は、柔道に取り組む
すべての人を応援します。

大将

JOV

国内・国際選手用

IJF公認

全柔連規格基準合格品

袖丈長タイプ
えり4本縫い



IJFマーク付
(赤枠)

JOJ

国内・国際選手用

IJF公認

全柔連規格基準合格品

袖丈長タイプ
えり4本縫い

全柔連認証番号
JOVC:JU0148
JOVP:JU0149

JOVC(上衣)
¥22,000+税

JOVP(ズボン)
¥10,000+税

合計価格¥32,000+税

色/ホワイト
上衣/綿70%・ポリエステル30%
ズボン/綿100%
防縮加工済柔道衣
上下ロ口赤S刺しゅう(ゴールド二重影)入
※二重織刺子生地引張り強度縦横共:2200N以上
※帯別売り

全柔連認証番号
JOFC:JU0127
JOFP:JU0128

JOFC(上衣)
¥18,200+税

JOFP(ズボン)
¥8,800+税

合計価格¥27,000+税

色/ホワイト
上衣/綿70%・ポリエステル30%
ズボン/綿100%
防縮加工済柔道衣
上下ロ口赤S刺しゅう(ゴールド影)入
※二重織刺子生地引張り強度縦横共:2200N以上
※帯別売り



株式会社 九桜

大阪支店 TEL072-973-1021(代)

東京支店 TEL03-3626-5081(代)

九州支店 TEL092-483-0371(代)

5 成果と課題

成果

1学年で10時間という限られた時間数ではあるが、担当教諭と柔道授業指導協力者とのチームティーチングによる授業で、柔道の特性や伝統的な考え方を十分に理解することができた。また、相手

の動きに応じた基本動作を身に付ける場面においても、生徒一人一人に応じたきめ細かな支援により、短時間で基本動作を身に付けることができた。

基本的な固め技を用いた攻防では、自己の課題を明確にしながら、

通して相手を尊重することの大切さに気付くとともに、多くの技の習得や攻防の楽しさに触れ、柔道の楽しさを実感することができている。今後地域人材の力を学校教育に取り入れながら本事業を継続し、柔道授業の充実を図っていき

○受け身や技の習得の際に低→高、遅→速、易→難、固定→移動、単独→相対、基本→応用といった段階的な指導を行うことにより、少しでも危険を取り除き不安を軽減することで安心して学習に取り組むことができる。

○柔道の事故や怪我は、隣接グループとの接触によるケースも予想されるため、指導場面に応じた授業形態(個、一斉、ペア、トリオ、グループ)の工夫を指導計画例に示すことで、指導場面に応じたペースの使い方の工夫を行うことができ、安全面を配慮した指導を行うことができる。

○学習カードを活用し個々のめあてやつまづきを担当教諭と柔道授業指導協力者で共有することにより、個々の段階に応じた適切な支援を施すことができ、技の上達や事故の防止につなげることができ

主体的、対話的で深い学びが展開されている。その学びの中に、柔道授業指導協力者による専門的分かりやすいアドバイスが加わることで、更に学習が深まっていく様子が見られた。

6 おわりに

課題

全中学校で行われている柔道授業の全ての時間に柔道授業指導協力者を派遣するため、人材の確保が最大の課題である。今年度も群馬県柔道連盟の協力を得て、13名

の柔道授業指導協力者に約900時間の授業協力を依頼している。そのため、柔道授業指導協力者の派遣の期間が重ならないよう、学校間で柔道授業の指導開始時期をずらすなどの対応を行っている。